



# なぜ?なぜ?つうしん 2010年度 秋号

## プロジェクトリーダーからのメッセージ

桑名 一隆(くわな かずたか)



記録的な猛暑にも負けず、大人でも難しい本格的なものづくりに、もくもくと粘り強くチャレンジしました。そして実りの秋を迎え、各チームとも努力の結果が形になってきています。真剣に取り組めば取り組むほど素晴らしいものづくりの体験・感動が得られますね。これから4ヶ月の活動が正念場です。がんばりましょう。

## 農業



### なぜっ子の声 (小6・女)

家で農業をやっているのですが、うまくできないので、どうしたらうまくできるのか知りたくて入りました。大変な時もあるけど色々知ることができてうれしいです。

酷暑の夏も過ぎ、朝晩の冷え込みが感じられる季節となりました。盆明けに整理して寂しかった畑も、大根・白菜といった秋冬野菜の苗が順調に育ってきています。ただ、本来終わりとなっていても不思議ではないナスがいまだに順調に実をつけている点が、今年の気象のおかしさを物語っているように感じます。夏野菜の植え付け 収穫 片付けと一連の流れを経験した子供たちも、鍬をはじめとした道具の使い方も一人前となりつつあり、作業も手際よく行えるようになったように思います(ほめ過ぎ?)。もう1クール、冬野菜の片付けから来年へ向けての土作りまでの間に何を感じ覚えてくれるのか、楽しみに見守りたいと思います。

農業チームリーダー 岩間 丈志(いわま たけし)

## 繊維



### なぜっ子の声 (小3・女)

七夕織りをやってみたくて入りました。つむぎ糸を作る作業はとっても大変でした。ボランティアさんはとっても優しく教えてくれます。これから布を織ってみたいです。

5月、綿のタネ蒔き。7~8月、黄色や赤紫色の花が咲き、直径2~3cmのコットンボールができました。9月、白、茶、緑の綿がとれ、その綿で綿糸を紡いでいます。現在、高機で織るため、縞のデザイン、整経、箆通し、千切巻きを行い、糸ソウコウを作る工程に入っています。自分たちで紡いだ糸を使って高機で織れる日が早く来るよう15名皆でがんばっています。5~7月、お蚕さんの卵が7、8cm位のお蚕さんになるまで毎日桑の葉をあげ、繭を作るまで目が離せません。その様を書いた額田恵璃さんの作文「おカイコさん」が、豊田市教育研究会主催の作文コンクールで特選になりました。8月、恵那市の志とり工房を見学し、珍しい地機織りを体験しました。

繊維チームリーダー 深津 鋼次(ふかつ こうじ)

## 自動車



### なぜっ子の声 (小5・男)

車が好きなので入りました。知らないことをたくさん知ることができてとても楽しいです。これから車を組み立てて、無事に完成させたいと思います。

夏の猛暑を乗り切り、「わくわくワールド」など いろいろなイベントにも参加して、多くの人々との出会いに触れた事で、子供達は一段と大きく成長したようです。指導員も負けじと、手造り教材や教え方に工夫を凝らしています。ここに来て、1年生はチームワークが良くなり『レストア車』の組付も順調です。また、『夢の車』では、ボディづくりに加え、フレーム切断から溶接まで2・3年生も、一丸となって取り組んでいます。少しずつ寒さが厳しくなってきましたが、子供達も指導員も完成めざし邁進しております。今後とも、保護者と、関係者の皆様方の更なる御協力を、よろしくをお願いします!

自動車チームリーダー 前田 浩二(まえだ こうじ)

## 陶芸



### なぜっ子の声 (小6・女)

作ることが好きだし前からやってみたいと思っていたので入りました。ろくろは難しかったけどお皿や器を作れて面白いです。もっと上手になりたいと思います。

陶芸チームの活動も半年が過ぎ、なぜっ子達は気の合った仲間を見つけ活発に学んでいます。時々ハメを外して困るくらい元気です。土をこね、器を作り、レンガを積んで窯を築く。マキを割って窯で焼く。木を削って道具作りをするなど基本をすることがものづくりでは大切です。このことをどうしたら伝えられるか、ボランティアとして難しい課題です。7月は瀬戸のノベルティ子供創造館に見学会に行き、型物成形を体験してきました。いつもの活動にはない経験ができて楽しかったようです。帰りには昨年までリーダーをしていた陶芸家の山田和俊先生の工房を見学させていただきました。先生の体調の良い時に陶芸の歴史や土づくりのお話を聞かせていただきたいと思います。

陶芸チームリーダー 牧原 理恵子(まきはら りえこ)

## 保護者の方へ

### なぜボラの声

#### 自動車チーム

初代リーダーに声をかけていただき、仕事の関係もあって関わるようになりましたが今は自分が楽しく参加しています。今年は子どもたちも指導員もしっかりしており、目的を持って活動できていると感じます。子どもたちが元気よくしっかり学べるよう、これからも見守っていかたいと思います。

### なぜボラの声

#### 陶芸チーム

前リーダーの山田先生とのご縁がきっかけですとお手伝いをさせていただいています。子どもに教えることは大変なこともあります。有意義な時間を持っていると思っています。たまには元気すぎる子もいますが、みんなよくやっていると思います。これからも頑張っていってほしいと思います。

風邪やインフルエンザの流行する季節となりました。お子様の体調管理をよろしくお願ひいたします。また、活動の様子、楽しかったこと、つらかったことなど、ぜひ、お子様に聞いていただき、お話しをしていただけたらと思います。

### 編集後記

今年もあっという間に11月。なぜ?なぜ?プロジェクトも後半戦に突入します。名前も知らなかった友達やボランティアさんとも仲良くなり、どのチームも本格的なものづくりに向け、難しい課題に取り組み始めています。苦労があるから喜びがある。それがまさに達成感ではないかと思ひます。今はもしかしたらその苦労の時かもしれない。だからこそ、今を大切に、やがて来る喜びのために、みんなで一緒にこの冬を乗り切りましょう!(I)